

# 静岡県月例経済報告

(平成28年6月号)

……平成28年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 482

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成28年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

平成28年4月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱さがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、弱めの動きとなっている。
- ・ 生産は、減少傾向にある。

## 需要面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きがうかがわれる。

大型小売店販売額(4月)は、百貨店が2か月連続で前年を下回ったものの、スーパーが5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額では5か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(4月)は、家電大型専門店が3か月ぶり、ドラッグストアが13か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、軽自動車は16か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数では25か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

新設住宅着工戸数(4月)は、持家が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家が4か月連続、分譲住宅が3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(4月)は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年4月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(4月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

## ◎輸出は、弱めの動きとなっている。

### 輸入は、前年を下回った。

輸出総額(4月)は、原動機が11か月連続、二輪自動車類が8か月ぶり、科学光学機器が14か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコンが4か月連続、自動車が12か月連続、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(4月)は、すべての主要品目で前年実績を下回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、962億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、減少傾向にある。

鉱工業生産指数(3月)は、電気機械が2か月連続、化学が10か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこがいずれも2か月連続、輸送機械が13か月連続、パルプ・紙・加工品が2か月ぶりに前年水準を下回ったことから、総合でも4か月連続で前年を下回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数(3月)は、総合では13か月連続で前年水準を上回った。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(4月)は1.36倍で、前月を0.09ポイント上回り、27か月連続で1倍を上回った。また、17か月ぶりに全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員(4月)は、33か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(3月)は、前年を下回った。

## その他

### ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(4月)は、前年同月比2.3%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(4月)は、前年同月比15.9%減と前年実績を下回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産(5月)は、件数は35件で前年同月比66.6%増、負債総額は前年同月比205.6%増となり、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

**【 「ふじのくにCNFフォーラム」セミナーを開催！ 】**

静岡県は、本県ならではの新たな産業の創出につなげるため、全国に先駆けて、産学官が連携してCNFの研究、製品化等を促進する「ふじのくにCNFフォーラム」を設立しています。今回、研究の現状、実用化に向けた取組などを紹介する第3回セミナーを開催しました。

- 日 時 平成28年5月26（木）14時30分～17時15分
- 会 場 富士市勤労者総合福祉センター 「ラ・ホール富士」 2階多目的ホール  
(富士市中央町2-7-11)
- 内 容
  - 1 学術講演  
「セルロースナノファイバーの特徴と展開 ～基礎・応用・課題～」  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター  
機能化学研究部門セルロース材料グループ長 遠藤 貴士 氏
  - 2 国からの報告  
「CNFはローカルアベノミクスのエンジンになる  
～社会実装に向けて 今やらなければならないこと～」  
経済産業省製造産業局紙業服飾品課長 渡邊 政嘉 氏
  - 3 企業の先進事例報告  
「平成27年度環境省F S事業の結果及び平成28年度の環境省  
CNF関連事業の取組」  
トクラス株式会社技術開発センターマネージャー 伊藤 弘和 氏
  - 4 静岡県の取組の紹介  
「ふじのくにCNFプロジェクトの推進」  
静岡県経済産業部商工業局商工振興課長 三須 敏郎  
静岡県富士工業技術支援センター長 佐藤 廣美
  - 5 富士市の取組の紹介  
「富士市におけるCNFの実用化に向けた取組」  
富士市産業経済部長 成宮 和具

(ふじのくにCNFフォーラムのメンバー)

- 会長 静岡県知事 川勝 平太
- 顧問 東京大学教授 磯貝 明  
京都大学教授 矢野 浩之  
静岡大学副学長 鈴木 滋彦
- 会員 企業、産業支援機関、行政機関等

(参考) セルロースナノファイバー (CNF)

セルロースナノファイバー (CNF) は、木材などの植物繊維を微細化したもので、軽量かつ高い強度を有する等の特性から、次世代の新素材として期待されており、国においても実用化、普及に向けた取組が進められています。

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

4 月 = 32,936百万円

\*前年同月比： 1.0%増

(県内3百貨店、131スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は32,936百万円で、前年同月比1.0%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比1.9%増）は5か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同2.5%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同1.8%増）が2か月ぶり、飲食料品（同1.7%増）が13か月連続で前年実績を上回ったものの、身の回り品（同4.9%減）、家庭用品（同11.2%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.1%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	32,396	34,291	33,803	42,800	37,052	32,077	34,394	32,936
前年同月比(%)	2.0	4.4	▲1.3	0.2	1.8	3.5	0.5	1.0
うち百貨店(%)	▲4.9	7.7	▲3.9	▲1.5	▲0.8	2.0	▲1.4	▲2.5
スーパー(%)	3.6	3.6	▲0.6	0.7	2.5	3.8	1.1	1.9
(参考1)全国前年同月比(%)	1.7	2.9	▲1.5	0.0	1.0	2.2	▲1.2	▲0.7
うち百貨店(%)	1.9	4.2	▲2.6	0.3	▲1.5	0.5	▲2.8	▲3.6
スーパー(%)	1.6	2.3	▲0.9	▲0.2	2.4	3.1	▲0.3	0.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.3	3.0	▲2.6	▲0.4	2.4	4.8	0.5	0.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲7.2	5.5	▲8.0	▲5.2	▲1.2	2.2	▲2.8	1.8
うち紳士服・洋品	▲7.0	5.4	▲9.0	▲7.8	▲2.1	5.9	1.5	4.5
婦人・子供服・洋品	▲7.4	5.0	▲7.7	▲3.6	▲1.6	0.0	▲4.7	0.9
身の回り品	▲0.2	8.5	▲6.6	▲2.0	1.1	0.2	▲3.6	▲4.9
飲食料品	4.3	3.7	0.8	2.2	3.1	4.3	1.8	1.7
家庭用品	▲0.5	8.5	▲0.1	0.3	6.4	6.8	▲5.7	▲11.2
うち家庭用電気機械器具	14.7	13.9	9.1	29.1	37.6	18.7	▲8.2	▲1.4

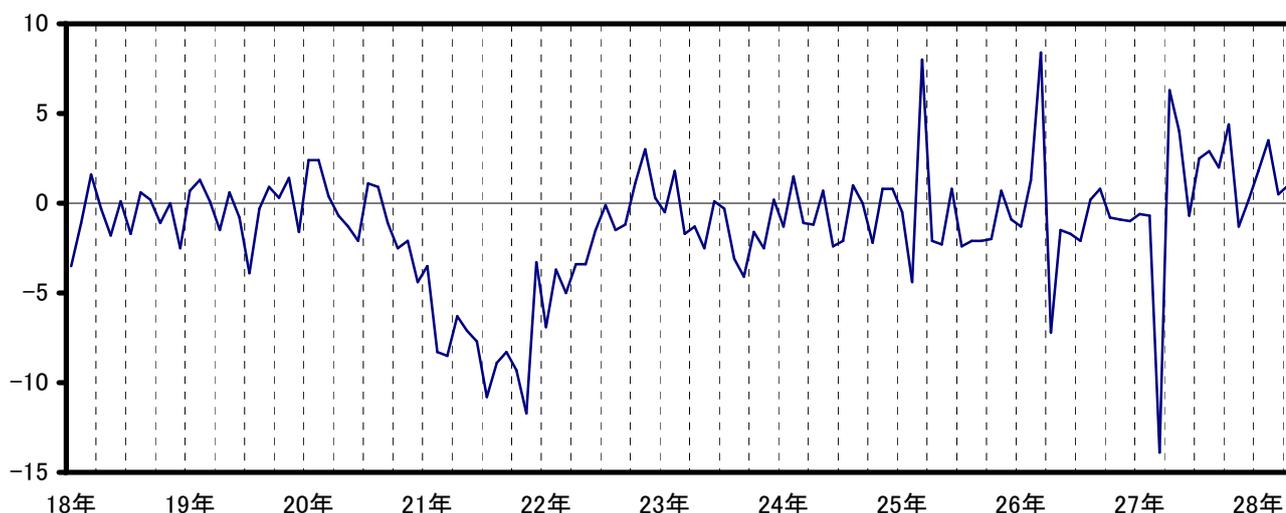
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

4月 = 5,726百万円

\*前年同月比： 2.5%減

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

4月の県内3百貨店の販売額は5,726百万円で、前年同月比 2.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

品目別にみると、食料品（前年同月比 2.7%増）が5か月連続、雑貨（同 10.1%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 5.4%減）が6か月連続、身の回り品（同 2.8%減）が3か月連続、家庭用品（同 28.4%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
販売額（百万円）	5,356	6,365	6,563	9,026	6,971	5,540	6,827	5,726
前年同月比（%）	▲ 6.0	6.3	▲ 5.2	▲ 2.7	▲ 2.1	0.7	▲ 2.6	▲ 2.5
(参考)全国前年同月比（%）	1.8	4.2	▲ 2.7	0.1	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9	▲ 3.8

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

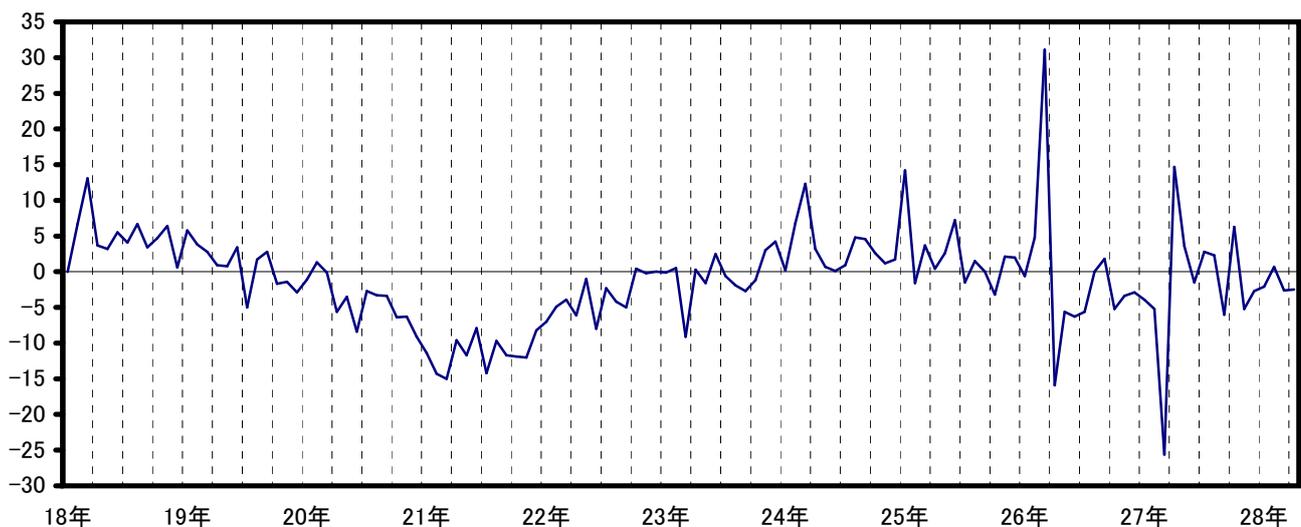
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲ 13.5	1.8	▲ 12.3	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 5.4
うち紳士服・洋品	▲ 14.4	1.5	▲ 15.6	▲ 8.7	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.8
婦人服・洋品	▲ 13.6	2.1	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 9.1	▲ 5.8
子供服・洋品	▲ 6.1	▲ 2.0	▲ 16.8	▲ 7.3	▲ 10.0	▲ 16.4	▲ 10.4	6.3
身の回り品	▲ 5.4	9.8	▲ 6.1	▲ 0.8	0.6	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 2.8
家庭用品	▲ 11.6	15.7	▲ 2.9	▲ 15.3	2.3	4.2	1.1	▲ 28.4
食料品	▲ 2.3	3.6	▲ 2.4	0.7	3.2	3.4	1.5	2.7
雑貨	8.2	16.9	8.5	▲ 0.5	▲ 0.8	11.0	4.4	10.1
うち美術・宝飾・貴金属	24.3	9.7	10.8	▲ 5.8	▲ 20.3	5.2	0.0	0.3

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

4月 = 34,565百万円

\*前年同月比： 5.2%増

(県内85家電大型専門店、447ドラッグストア、100ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は34,565百万円で、前年同月比5.2%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 0.5%増）が3か月ぶり、ドラッグストア（同 8.3%増）が13か月連続、ホームセンター（同 3.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	32,242	33,878	33,811	42,593	34,535	31,796	36,585	34,565
前年同月比(%)	1.6	7.3	0.6	2.4	5.9	5.5	0.6	5.2
うち 家電大型専門店(%)	▲ 4.6	3.9	▲ 6.3	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6	▲ 5.5	0.5
ドラッグストア(%)	6.1	10.5	7.5	10.6	7.9	10.0	5.3	8.3
ホームセンター(%)	▲ 1.8	3.7	▲ 6.3	▲ 3.7	2.2	1.4	▲ 1.8	3.1
(参考)全国前年同月比(%)	4.0	6.8	1.9	1.1	5.1	4.8	0.4	4.4

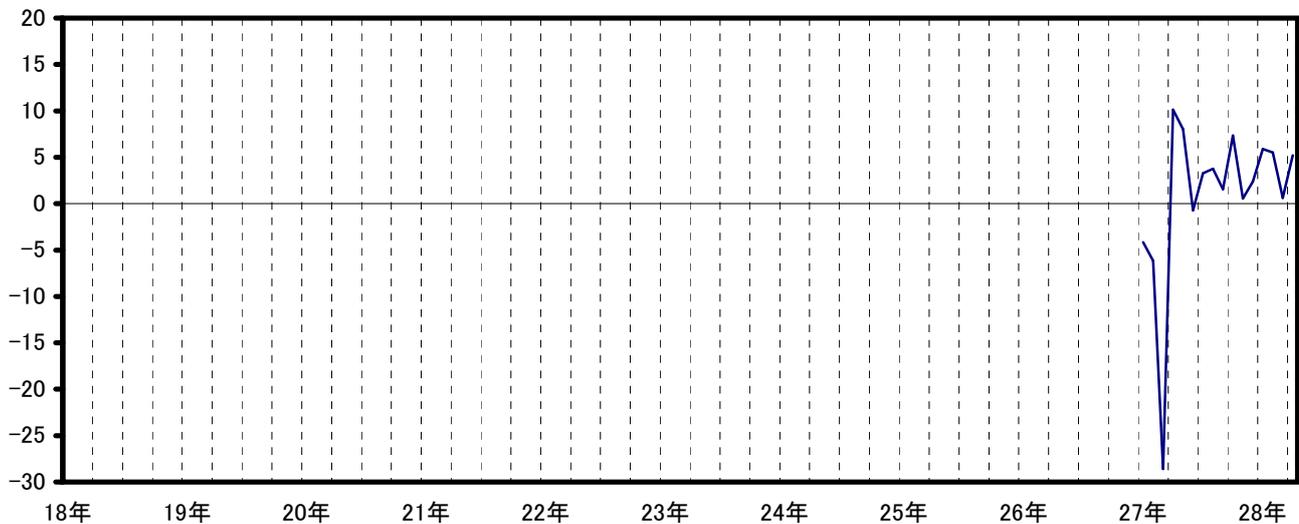
(注)販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

4月 = 12,446台

\*前年同月比：20.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は12,446台(前年同月比20.0%増)となり、25か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(同49.0%増)が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、軽自動車(同11.5%減)は16か月連続で前年実績を下回った。

##### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	15,890	12,880	13,034	13,192	14,747	17,217	22,040	12,446
前年同月比(%)	▲6.0	▲2.6	▲7.9	▲6.8	▲0.9	▲5.3	▲8.4	20.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.4	▲4.0	▲7.6	▲14.6	▲4.4	▲5.2	▲9.3	2.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

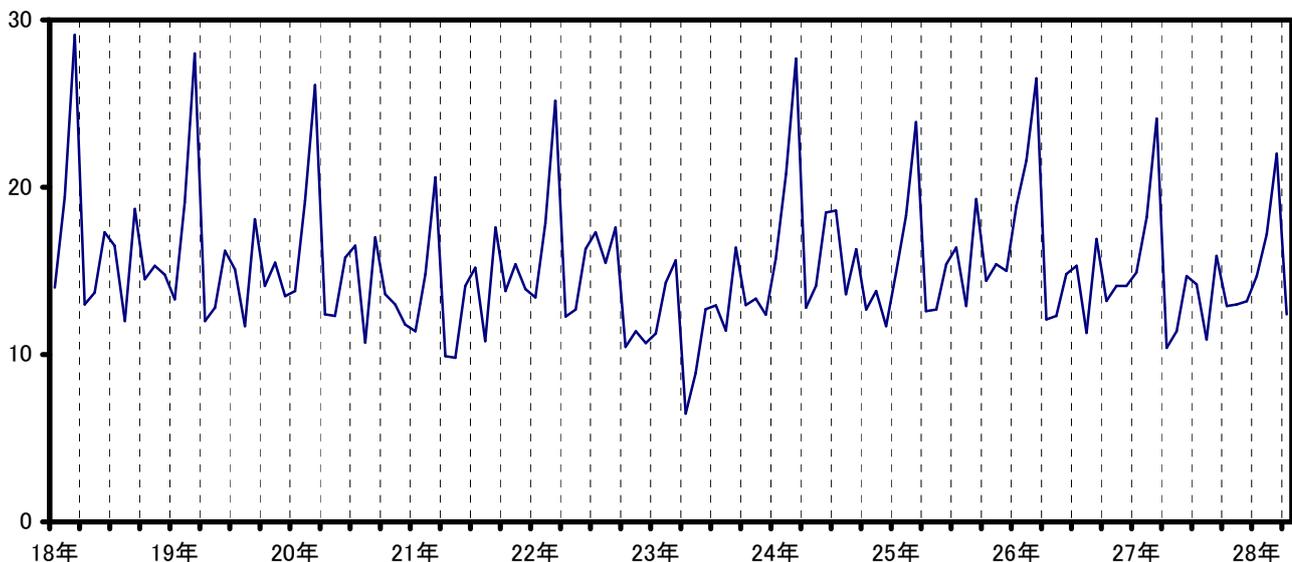
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
全乗用車	▲6.0	▲2.6	▲7.9	▲6.8	▲0.9	▲5.3	▲8.4	20.0
乗用車	▲2.3	▲1.0	▲0.2	4.5	7.9	▲1.9	▲1.0	49.0
軽自動車	▲10.3	▲4.6	▲15.6	▲17.9	▲9.6	▲8.9	▲16.1	▲11.5

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

4 月 = 2,096戸

\*前年同月比： 16.1%増

### <概況>

4月の新設住宅着工戸数は2,096戸で、前年同月比 16.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 9.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家（同 33.8%増）が4か月連続、分譲住宅（同 90.6%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

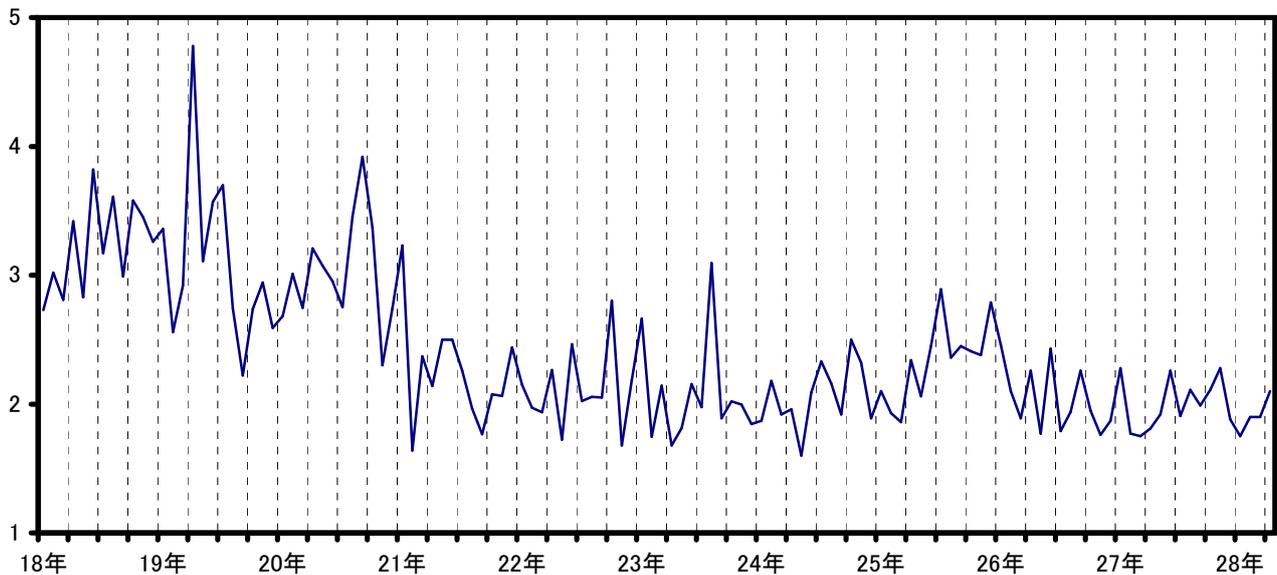
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
戸数（戸）	1,987	2,114	2,280	1,883	1,753	1,895	1,885	2,096
前年同月比（%）	▲ 12.1	8.2	29.8	0.6	▲ 23.0	7.0	7.7	16.1
うち持家（%）	▲ 15.4	5.9	24.3	▲ 1.2	▲ 16.3	▲ 9.4	2.0	▲ 9.4
貸家（%）	▲ 19.2	19.0	44.4	▲ 14.6	5.8	9.3	9.9	33.8
分譲住宅（%）	7.3	▲ 1.7	17.7	31.2	▲ 63.6	55.8	33.0	90.6
(参考)全国前年同月比（%）	2.6	▲ 2.5	1.7	▲ 1.3	0.2	7.8	8.4	9.0

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

4 月 = 50,393百万円

\*前年同月比：28.7%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

4月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は50,393百万円で、前年同月比28.7%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は478件で、前年同月比3.7%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
金額(百万円)	34,060	32,163	15,778	15,359	8,963	6,499	15,013	50,393
前年同月比(%)	▲18.4	52.9	9.2	▲0.6	▲5.4	▲19.7	▲0.7	28.7
年度累計前年同月比(%)	▲11.3	▲5.2	▲4.3	▲4.0	▲4.1	▲4.6	▲4.4	28.7
件数(件)	1,134	940	744	805	441	159	167	478
前年同月比(%)	▲13.7	10.1	8.6	7.5	▲4.5	▲44.8	▲8.7	3.7
年度累計前年同月比(%)	▲7.0	▲4.3	▲2.8	▲1.7	▲1.9	▲3.5	▲3.6	3.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

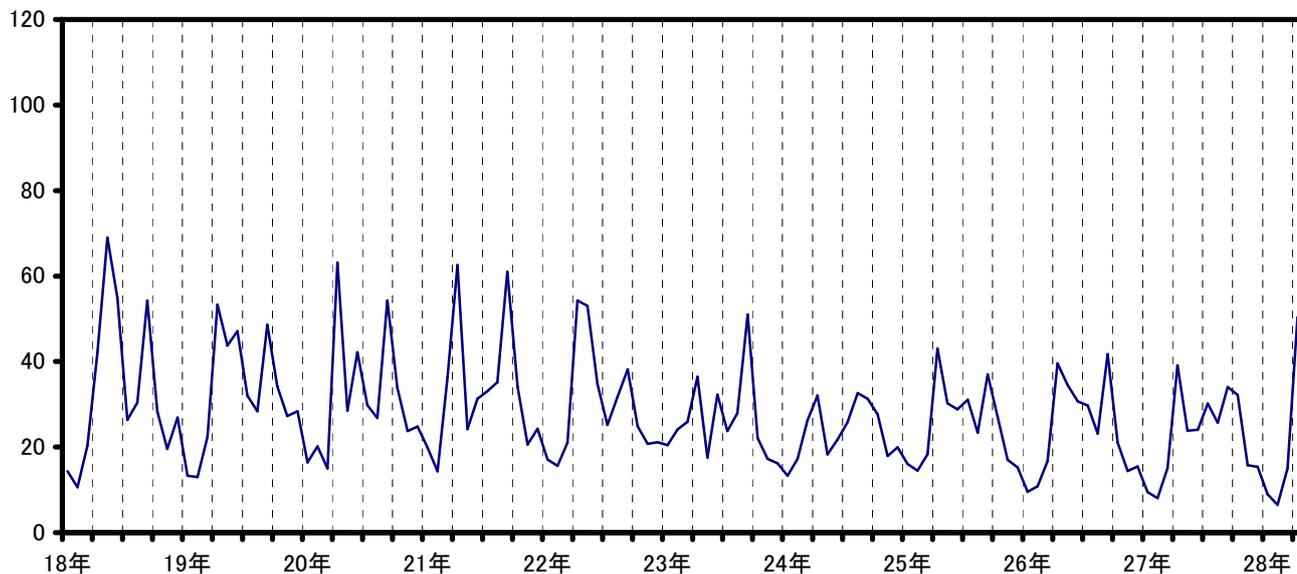
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
国	▲43.1	15.6	▲47.4	8.4	72.0	17.0	▲19.5	84.8
独立行政法人等	▲59.0	549.5	▲71.2	▲11.0	▲92.4	▲64.3	1,900.6	103.0
県	▲23.2	27.3	24.3	17.4	▲15.5	▲60.3	▲46.5	15.7
市町	▲5.7	37.2	27.3	▲0.5	18.1	▲10.6	▲17.6	▲15.0
地方公社	123.9	166.0	—	218.8	1,780.0	—	—	—
その他	15.9	355.4	4.2	▲46.1	▲45.6	87.8	90.3	98.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 23.6%増）、非製造業（同 8.8%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 16.2%増）でも増加する計画となっている。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 7.6%増）で増加、非製造業（同 9.2%減）で減少する計画となっており、全産業（同 0.2%減）でも減少する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は89,979㎡で、前年同月比 14.4%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		27年度 (計画)			28年度 (計画)					
		前回調査 比修正率	上期	下期 (計画)	上期 (計画)	下期 (計画)				
全産業	県	16.2	▲ 2.4	13.6	0.4	18.3	▲ 4.4	▲ 0.2	9.9	▲ 8.1
	全国	8.0	0.2	5.7	—	9.8	▲ 0.2	▲ 4.8	6.3	▲ 13.2
製造業	県	23.6	▲ 4.0	22.4	0.9	24.4	▲ 7.1	7.6	30.2	▲ 7.7
	全国	10.8	▲ 1.3	7.0	—	13.8	▲ 2.3	▲ 0.9	13.5	▲ 11.7
非製造業	県	8.8	▲ 0.4	6.1	▲ 0.2	11.3	▲ 0.6	▲ 9.2	▲ 10.0	▲ 8.5
	全国	6.7	1.0	5.0	—	7.9	0.8	▲ 6.8	2.7	▲ 13.9

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成28年3月調査)」

### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	126,652	143,311	110,179	86,797	143,745	82,939	154,306	89,979
前年同月比（%）	▲ 33.3	▲ 17.6	▲ 29.4	▲ 16.9	100.2	▲ 0.6	151.3	▲ 14.4
(参考) 全国前年同月比（%）	▲ 2.0	▲ 22.1	▲ 6.8	6.7	▲ 11.1	▲ 12.0	12.7	▲ 22.0

(注) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年12月	28年3月	28年6月 (予測)
全産業	7	7	▲ 3
製造業	5	2	▲ 4
非製造業	9	11	▲ 2
(参考) 全国・全産業	9	7	1

(注) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成28年3月調査)」

## 5 輸出

4 月 = 166,975百万円

\*前年同月比： 3.1%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は166,975百万円で、前年同月比 3.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 5.3%増）が11か月連続、二輪自動車類（同 14.1%増）が8か月ぶり、科学光学機器（同 6.5%増）が14か月連続で前年実績を上回ったものの、エアコン（同 1.9%減）が4か月連続、自動車（同 9.5%減）が12か月連続、自動車の部分品（同 12.9%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 18.1%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 4.1%減）が2か月連続、米国向け（同 5.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	169,382	172,316	154,196	179,516	143,606	168,867	179,315	166,975
前年同月比(%)	0.4	▲ 1.9	▲ 5.1	▲ 5.7	▲ 13.5	3.5	▲ 1.7	▲ 3.1

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
原動機	30.6	19.0	10.4	7.3	7.2	16.9	27.9	5.3
エアコン	▲ 13.9	▲ 15.5	20.4	22.9	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.1	▲ 1.9
自動車	▲ 44.8	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 19.2	▲ 46.5	▲ 25.9	▲ 19.8	▲ 9.5
自動車の部分品	▲ 12.3	▲ 10.3	▲ 4.4	▲ 3.9	▲ 20.4	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 12.9
二輪自動車類	▲ 19.8	▲ 24.2	▲ 37.1	▲ 27.2	▲ 22.9	▲ 3.1	▲ 2.7	14.1
科学光学機器	43.2	41.1	48.5	21.4	8.0	67.3	45.3	6.5

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
アジア	▲ 0.2	0.1	0.2	▲ 1.4	▲ 10.8	6.7	▲ 4.5	▲ 4.1
米国	2.6	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 20.7	▲ 5.2	4.3	5.9	▲ 5.6
EU	13.3	18.1	0.3	17.4	▲ 20.2	13.0	12.1	18.1

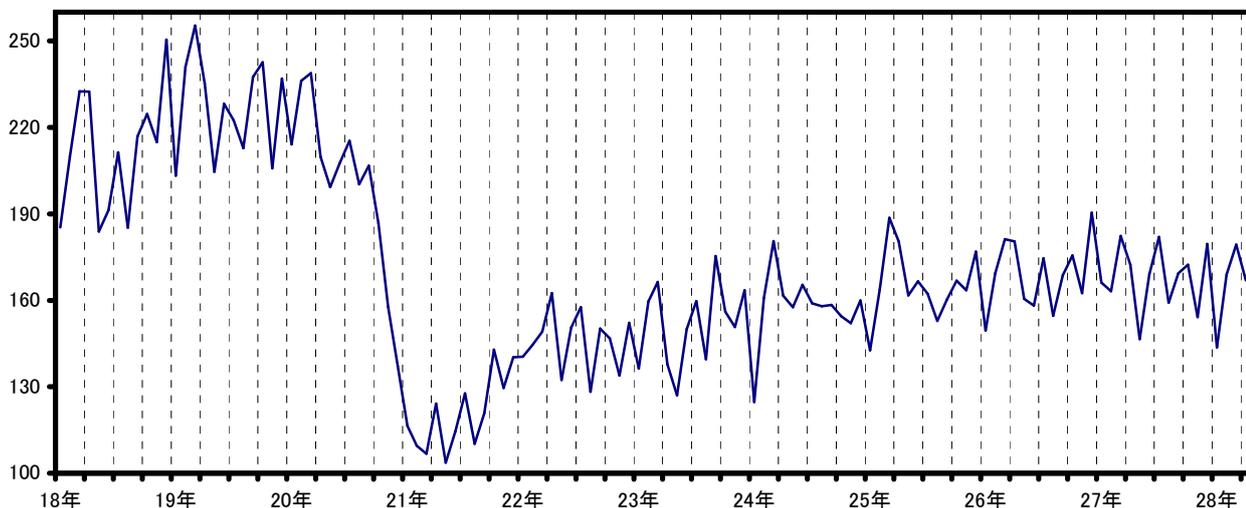
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

4月 = 70,726百万円

\*前年同月比： 21.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は70,726百万円で、前年同月比 21.6%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 6.9%減）、原動機（同 55.3%減）がいずれも2か月ぶり、木材（同 34.4%減）、パルプ（同 29.6%減）がいずれも4か月連続、紙類及び同製品（同 6.7%減）が6か月ぶり、自動車の部分品（同 42.7%減）が3か月連続で前年実績を下回り、すべての主要品目で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 11.3%減）が2か月ぶり、米国から（同 18.1%減）が2か月連続、EUから（同 35.4%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	81,475	84,964	81,618	78,322	86,528	76,372	77,658	70,726
前年同月比(%)	▲ 7.8	▲ 3.8	8.2	▲ 18.4	▲ 11.2	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 21.6

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
魚介類	7.9	▲ 18.1	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 0.4	10.0	▲ 6.9
木材	▲ 14.2	▲ 35.8	▲ 5.2	21.6	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 10.1	▲ 34.4
パルプ	▲ 26.2	22.5	35.4	10.5	▲ 15.3	▲ 13.4	▲ 29.7	▲ 29.6
紙類及び同製品	▲ 17.7	▲ 5.1	23.9	32.2	23.4	24.9	42.7	▲ 6.7
原動機	17.8	▲ 10.9	0.0	▲ 27.1	▲ 1.4	▲ 51.6	99.8	▲ 55.3
自動車の部分品	▲ 12.0	12.6	▲ 18.6	▲ 1.5	4.5	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 42.7

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

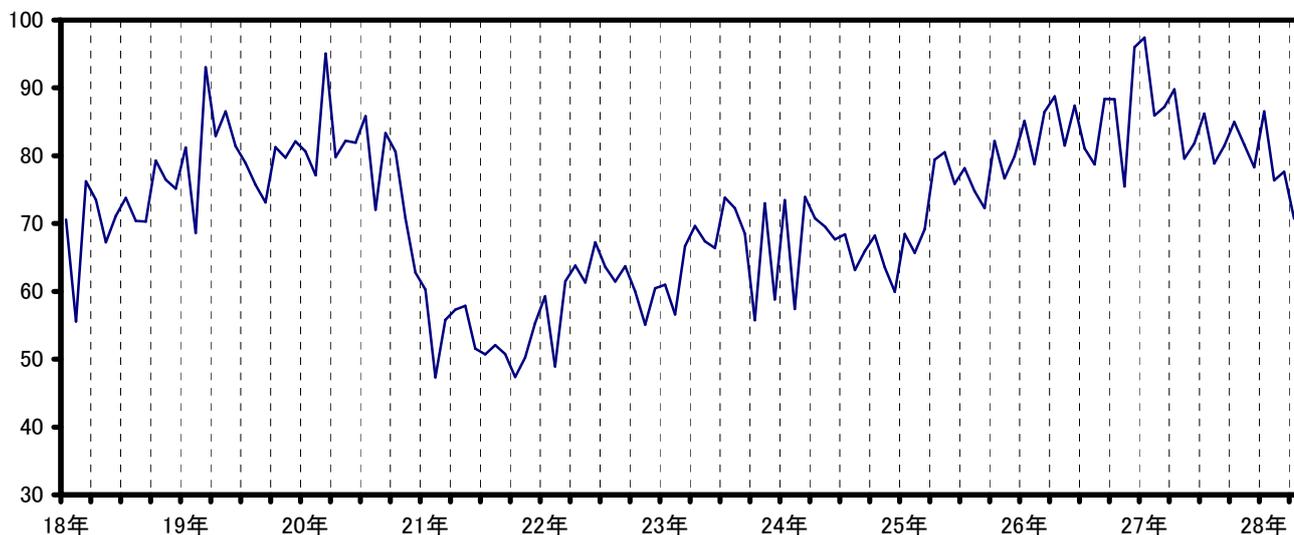
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
アジア	▲ 12.0	4.8	2.6	▲ 8.7	▲ 7.2	▲ 11.6	5.9	▲ 11.3
米国	▲ 26.0	41.5	80.8	▲ 33.1	17.2	4.7	▲ 10.1	▲ 18.1
EU	▲ 8.8	▲ 19.8	2.3	8.5	▲ 6.0	▲ 10.1	▲ 20.4	▲ 35.4

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

3 月 = 90.7

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 0.6%増

\*前年同月比(原指数) : 6.2%減

#### <概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は90.7(季節調整済指数)で、前月比0.6%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.2%減と4か月連続で前年を下回った。  
業種別にみると、電気機械(前年同月比12.2%増)が2か月連続、化学(同23.4%増)が10か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.3%減)、食料品・たばこ(同2.8%減)がいずれも2か月連続、輸送機械(同30.6%減)が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.6%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
指 数	89.9	90.3	90.1	90.2	89.8	92.9	90.2	90.7
前 月 比 (%)	▲ 0.1	0.4	▲ 0.2	0.1	▲ 0.4	3.5	▲ 2.9	0.6
前 年 同 月 比 (%)	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 4.6	0.3	▲ 2.3	▲ 5.0	▲ 4.9	▲ 6.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	▲ 0.9	▲ 1.4	1.6	▲ 1.6	▲ 3.8	▲ 1.5	▲ 5.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 3.8	▲ 9.7	▲ 0.1	12.4	▲ 3.5	0.8	▲ 13.4	▲ 3.3
電 気 機 械 工 業	▲ 4.8	3.5	▲ 2.0	7.7	0.2	▲ 2.8	4.5	12.2
輸 送 機 械 工 業	▲ 10.7	▲ 11.4	▲ 16.2	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 18.7	▲ 21.0	▲ 30.6
化 学 工 業	13.5	9.7	10.7	15.5	17.0	14.5	18.4	23.4
パルプ・紙・紙加工品工業	3.3	1.1	▲ 1.0	▲ 0.6	0.8	▲ 1.5	1.4	▲ 2.6
食料品・たばこ工業	9.7	10.4	▲ 1.1	3.2	8.5	0.9	▲ 0.3	▲ 2.8

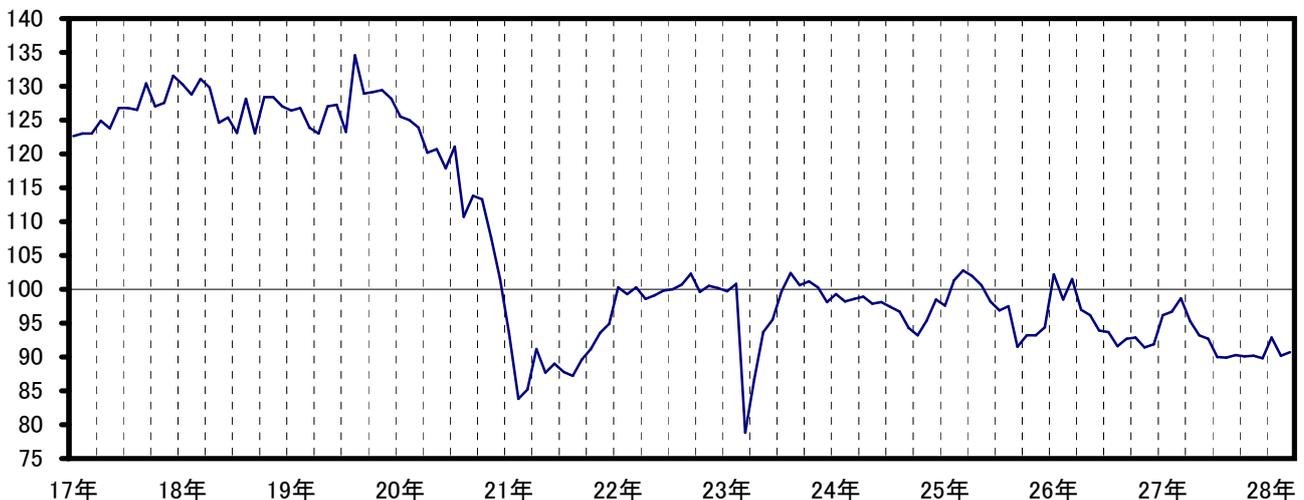
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

3月 = 125.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.1%増

\*前年同月比(原指数) : 12.2%増

### <概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は125.9(季節調整済指数)で、前月比は2.1%増と2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は12.2%増と13か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比8.5%減)が12か月連続、食料品・たばこ(同3.4%減)が6か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同25.0%増)が27か月連続、輸送機械(同41.3%増)が14か月連続、化学(同14.1%増)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同6.0%増)が7か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
指数	116.6	116.8	120.4	119.6	120.5	119.9	123.3	125.9
前月比(%)	1.2	0.2	3.1	▲0.7	0.8	▲0.5	2.8	2.1
前年同月比(%)	8.2	11.3	16.1	16.4	18.9	21.2	19.0	12.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.2	2.0	0.2	▲0.5	0.0	0.2	▲0.9	▲0.2

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.7	▲7.0	▲5.4	▲6.9	▲7.8	▲10.3	▲3.0	▲8.5
電気機械工業	16.9	26.0	17.1	25.7	20.7	24.4	23.2	25.0
輸送機械工業	73.6	104.6	114.2	113.3	160.2	130.7	69.1	41.3
化学工業	3.5	10.0	17.6	9.8	14.7	11.5	17.3	14.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.3	3.0	6.1	6.4	11.8	13.5	10.0	6.0
食料品・たばこ工業	▲1.8	▲7.9	3.2	6.5	7.1	6.3	7.6	▲3.4

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**4 月 = 1.36倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.09ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

4月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.36倍となり、前月を0.09ポイント上回った。また、17か月ぶりに全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比5.6%増)は3か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比32.0%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同5.2%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同5.1%増)が3か月連続、製造業(同9.2%増)、卸売業・小売業(同12.0%増)がいずれも6か月連続、医療・福祉(同5.2%増)が2か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同20.0%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
県	1.20	1.23	1.24	1.25	1.24	1.25	1.27	1.36
全 国	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
建 設 業	10.7	2.4	2.0	14.1	▲ 5.1	0.8	11.0	5.1
製 造 業	▲ 3.2	▲ 0.7	6.7	4.6	9.5	4.6	11.0	9.2
情 報 通 信 業	1.8	21.4	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1	▲ 17.9	▲ 32.0
運 輸 業 ・ 郵 便 業	3.8	5.1	0.8	13.3	▲ 9.4	8.0	▲ 0.6	▲ 5.2
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 2.1	▲ 1.3	10.5	17.5	18.9	59.3	28.0	12.0
医 療 ・ 福 祉	▲ 6.5	▲ 12.5	▲ 2.2	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8	▲ 1.9	5.2
サービス業(他に分類されないもの)	20.4	11.5	0.3	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3	11.4	20.0
合 計	3.5	▲ 1.2	3.2	6.5	▲ 5.1	11.1	7.9	5.6

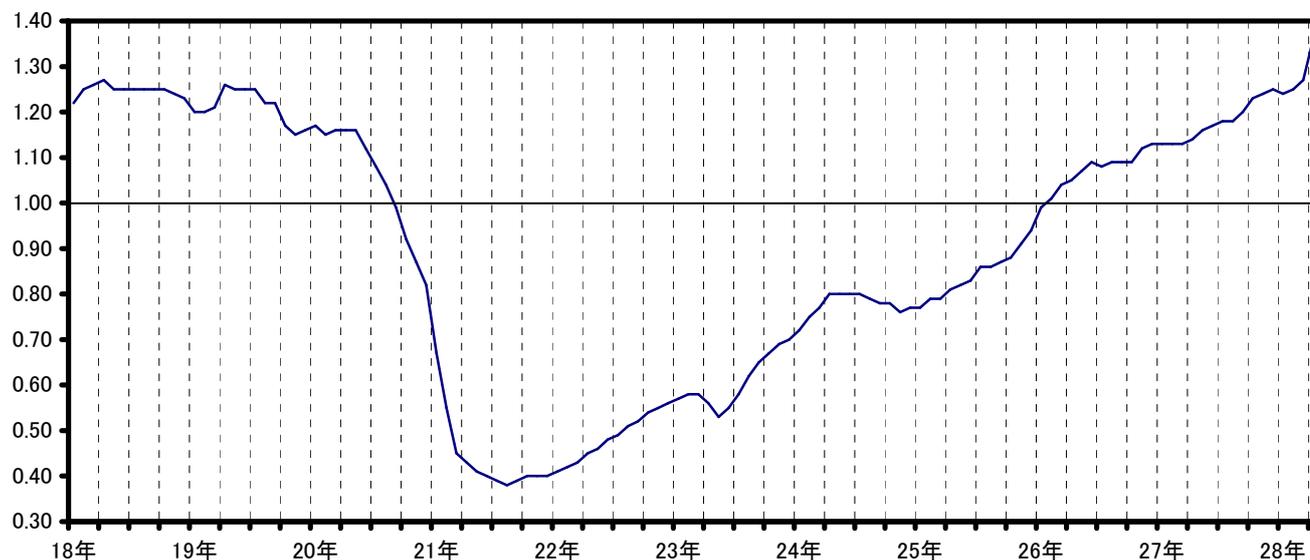
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

4月 = 11,113人

\*前月比: 4.8%減

\*前年同月比: 12.8%減

<概況>

4月の雇用保険受給者実人員は11,113人で、前月比は4.8%減と3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は12.8%減と33か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は3.2%で、前月と同水準となった。  
 静岡県(平成28年1~3月)の完全失業率は2.7%で、前期(27年10~12月)と同水準となった。

<最近の動き>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
実人員(人)	14,542	13,753	12,991	12,320	12,525	12,042	11,671	11,113
前月比(%)	▲1.8	▲5.4	▲5.5	▲5.2	1.7	▲3.9	▲3.1	▲4.8
前年同月比(%)	▲6.4	▲12.1	▲8.3	▲11.0	▲10.1	▲8.7	▲9.8	▲12.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲7.1	▲7.3	▲3.4	▲6.3	▲6.2	▲4.6	▲6.0	▲8.9

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	3.4	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2

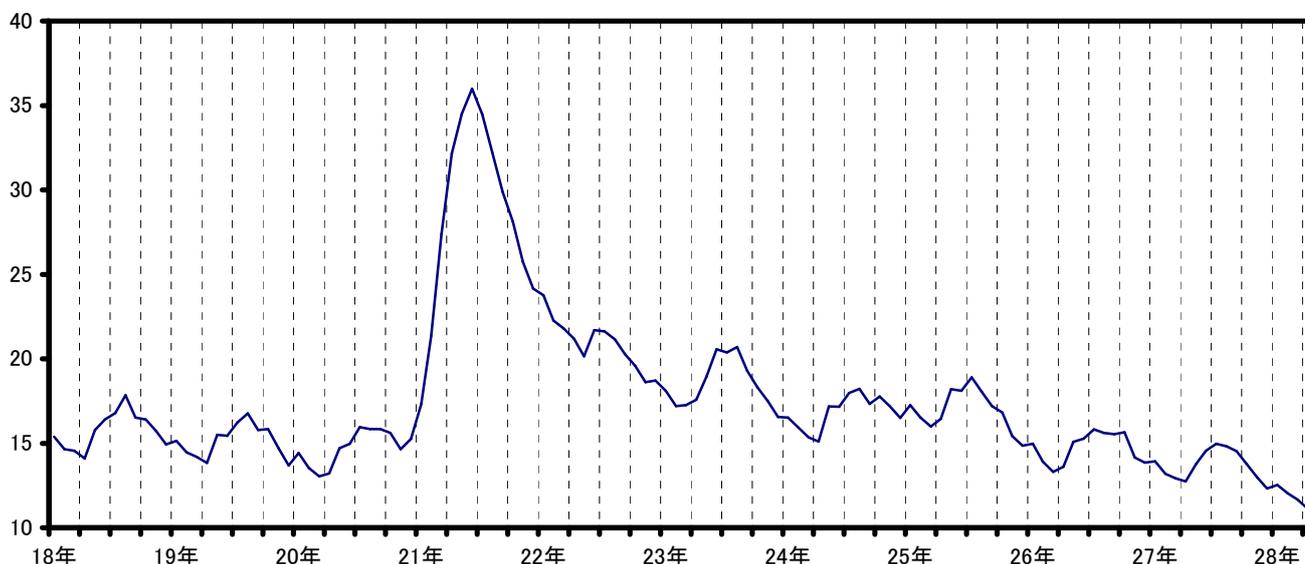
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

3月 = 107.1

\*前月比(季節調整済指数): 3.9%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 2.0%減

#### <概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は107.1(季節調整済指数)で、前月比3.9%減となった。また、前年同月比(原指数)は2.0%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比11.4%増)が14か月ぶり、医療・福祉(同6.9%増)が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同33.9%減)、運輸業・郵便業(同9.9%減)がいずれも4か月連続、製造業(同7.0%減)が3か月連続、情報通信業(同9.1%減)が2か月連続、その他のサービス業(同1.6%減)が5か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
指数	104.7	111.8	113.7	113.0	111.0	108.6	111.5	107.1
前月比(%)	0.2	6.8	1.7	▲0.6	▲1.8	▲2.2	2.7	▲3.9
前年同月比(%)	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	1.0	0.0	0.8	▲1.5	▲3.1	▲1.6	▲0.7

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
建設業	▲21.1	9.9	8.8	8.6	▲5.4	▲31.6	▲31.5	▲33.9
製造業	6.7	6.3	11.2	9.1	0.4	▲1.1	▲3.9	▲7.0
情報通信業	7.9	23.4	10.3	59.3	55.0	32.4	▲7.8	▲9.1
運輸業・郵便業	0.4	▲9.1	▲1.0	1.4	▲0.3	▲10.6	▲1.6	▲9.9
卸売業・小売業	▲12.6	▲13.0	▲7.1	▲4.1	▲4.3	▲28.7	▲11.0	11.4
医療・福祉	20.1	▲7.6	36.7	38.4	▲20.9	▲19.4	▲13.9	6.9
その他のサービス業	▲23.0	15.9	▲9.0	2.6	15.6	6.5	6.4	▲1.6
調査産業計	▲2.1	2.8	6.3	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0

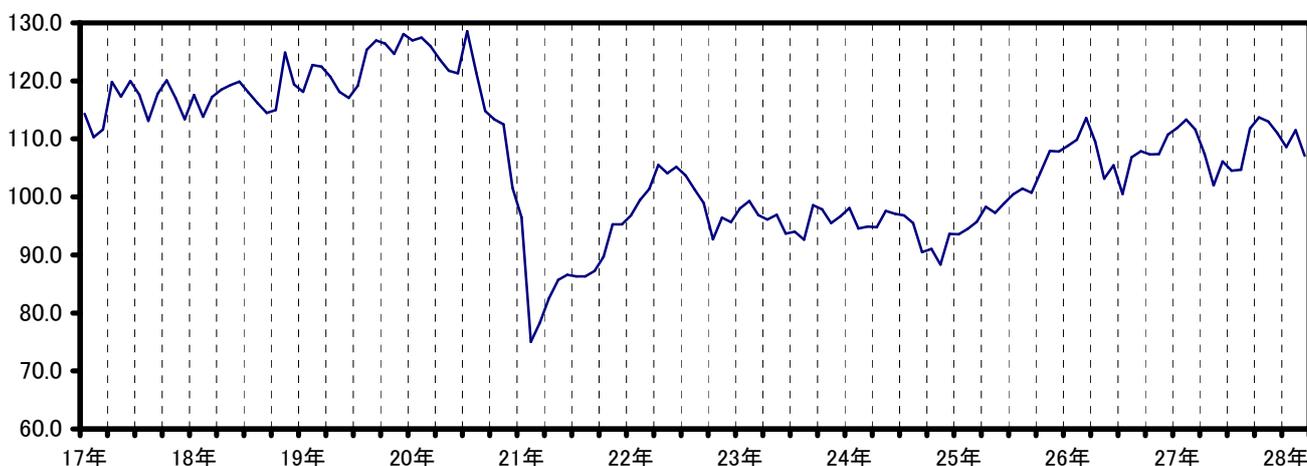
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

5 月 = 99.4

(平成22年=100)

\*前 月 比: 0.2%上昇

\*前年同月比: 4.2%下落

#### <概 況>

5月の国内企業物価指数は99.4となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は4.2%の下落となった。

#### <最近の動き>

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	101.4	101.3	101.0	100.0	99.7	99.6	99.2	99.4
前 月 比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.2
前年同月比 (%)	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 3.5	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.2

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

4 月 = 135,831億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 1.6%減

\*前年同月比: 2.3%増

#### <概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,831億円で、前月比は1.6%減、前年同月比は2.3%増となった。

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	134,850	133,704	134,046	137,340	136,096	135,700	138,097	135,831
前 月 比 (%)	1.9	▲ 0.8	0.3	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	1.8	▲ 1.6
前年同月比 (%)	1.6	2.0	1.7	2.8	2.8	2.6	2.5	2.3

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

4 月 = 2.156%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.011ポイント増

\*前年同月差: 0.019ポイント増

#### <概 況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.156%で、前月から0.011ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.019ポイントのプラスとなった。

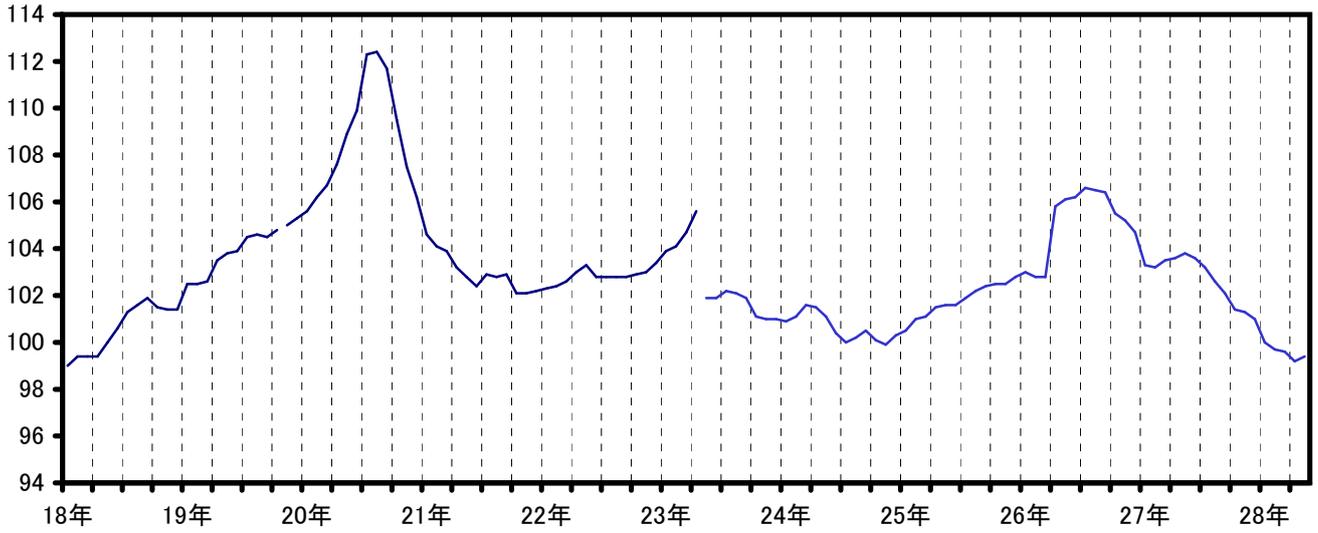
	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利(%)	2.148	2.166	2.168	2.150	2.159	2.164	2.145	2.156
前月差(ポイント)	▲ 0.014	0.018	0.002	▲ 0.018	0.009	0.005	▲ 0.019	0.011
前年同月差(ポイント)	0.039	0.042	0.042	0.032	0.028	0.022	0.021	0.019

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

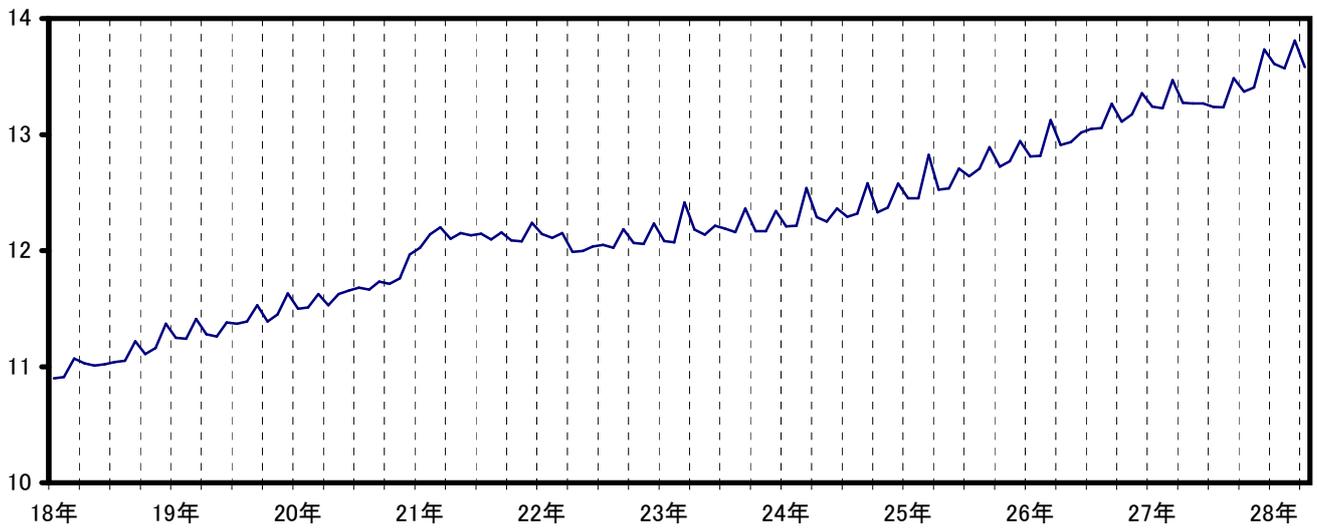
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



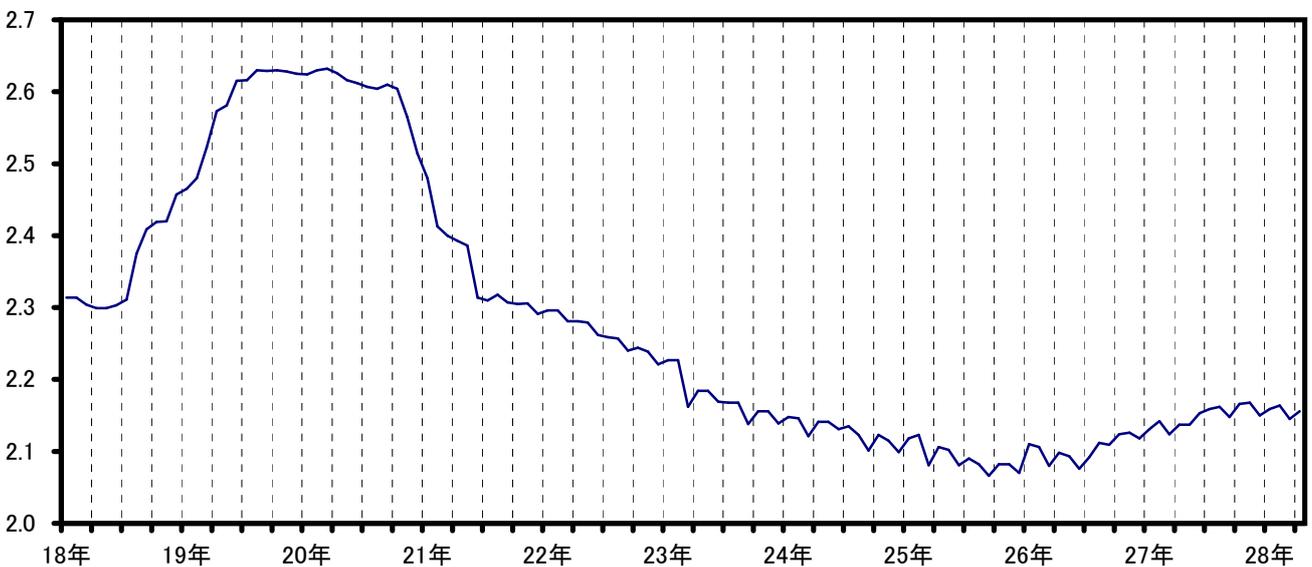
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****4月 = 14,208百万円**

\*前年同月比： 15.9%減

## &lt;概況&gt;

4月の保証承諾は、金額が14,208百万円（前年同月比 15.9%減）と42か月連続で前年実績を下回り、件数は1,600件（同 13.8%減）と13か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	25,925	19,867	19,298	26,865	15,313	18,631	24,978	14,208
前年同月比（%）	▲ 2.3	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0	▲ 19.1	▲ 15.9
保証件数（件）	2,635	2,142	2,015	2,647	1,694	2,029	2,621	1,600
前年同月比（%）	▲ 6.8	▲ 2.9	▲ 6.9	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3	▲ 18.5	▲ 13.8

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****5月 = 109.15円/ドル**

\*前月差： 0.73円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 11.59円高

## &lt;概況&gt;

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.15円で、前月と比べて0.73円の円高となり、6か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	120.06	122.54	121.84	118.25	115.02	113.07	109.88	109.15
前月差（円）	▲ 0.16	2.48	▲ 0.70	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95	▲ 3.19	▲ 0.73
前年同月差（円）	12.00	6.32	2.44	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32	▲ 9.67	▲ 11.59

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****5月 = 35件**

\*前年同月比： 66.6%増

## &lt;概況&gt;

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は35件（前年同月比 66.6%増）、負債総額は8,797百万円（同 205.6%増）となり、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が33件と全体の94.3%を占め、222か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

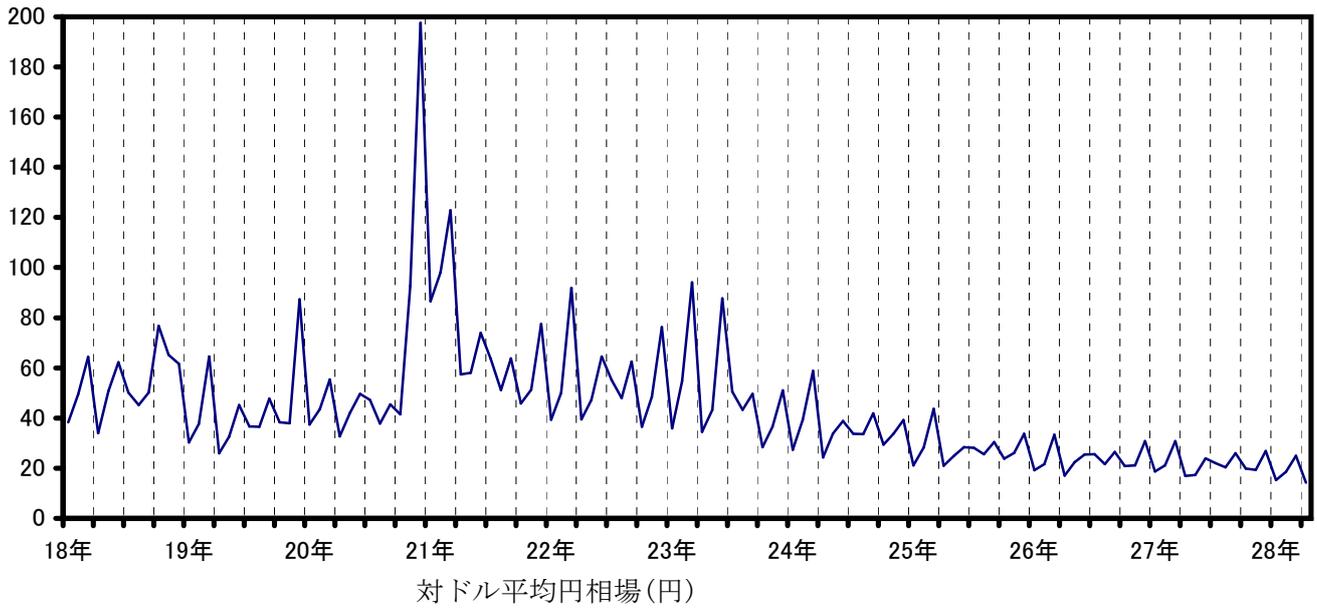
	27年10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	18	24	19	19	27	25	12	35
前年同月比（%）	▲ 40.0	0.0	▲ 13.6	▲ 24.0	50.0	8.6	▲ 52.0	66.6
うち不況型倒産件数（件）	15	20	13	16	26	21	11	33
負債総額（百万円）	3,590	5,366	3,548	3,134	2,949	2,899	1,704	8,797
前年同月比（%）	12.7	82.8	▲ 11.6	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8	▲ 57.4	205.6

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

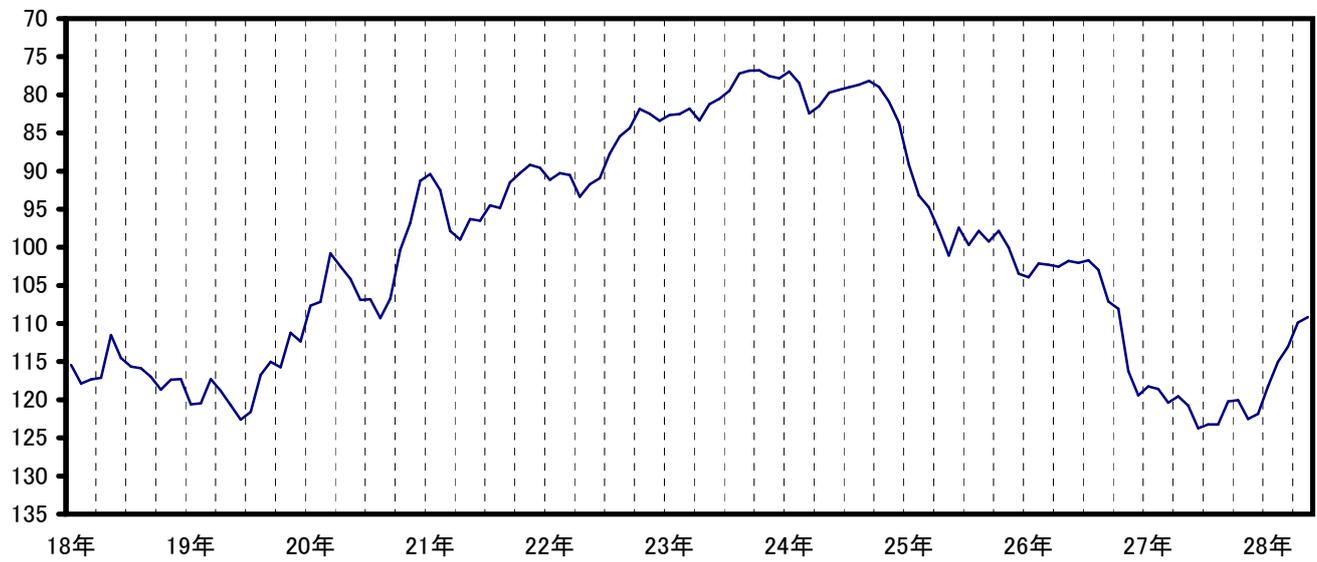
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

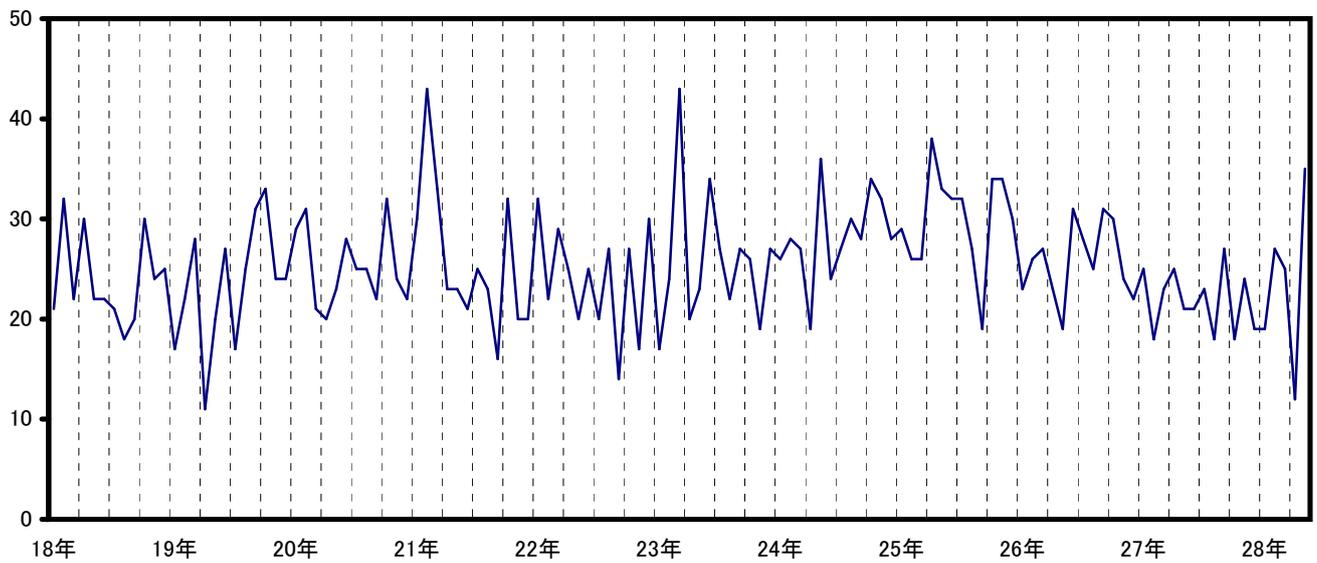


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成28年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>4月の国内二輪車生産台数は、40,521台（前年同月比12.6%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は6,161台（同40.0%増）と、前月に引き続き好調であった。</p> <p>出荷台数は、国内向けは29,978台（同14.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けは、36,534台（同14.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。特にヨーロッパ向けが19,682台（同41.6%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>4月の自動車国内生産台数は643,901台（前年同月比9.7%減）となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、輸出は369,131台（同2.8%減）となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが12か月連続、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>輸出は、アジア向けが3か月連続、欧州向けが2か月連続で前年実績を上回ったものの、北米向けが4か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は287億6,300万円（前年同月比11.7%増）、国内出荷台数は264千台（同5.0%増）となり、ともに4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは420千台（同5.1%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は53千台（同9.3%増）で、13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>3月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,295千台（同36.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、550千台（同40.5%減）となり、単月のスマートフォン比率は42.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用 機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、992億3,700万円（前年同月比26.3%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は602億6,300万円（同30.1%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが229億5,600万円（同52.8%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。内需は389億7,400万円（同19.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、円高株安傾向により輸出産業にかなり影響が出ているとの声や、中国、アジア圏の景況悪化に加え、国内消費の底割れや円高・株安などの不安材料が多く、設備投資見合わせ感が強まっているとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億6,400万円（前年同月比 2.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが27億4,300万円（同 8.9%減）で、国内向けが29億2,100万円（同 4.8%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,293台（同 5.2%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,165台（同10.2%増）、グランドピアノが1,128台（同 3.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,239台（同10.8%増）、国内向けが1,459台（同17.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、2,119千ト（前年同月比 0.1%増）で、5か月ぶりに、前年実績を上回った。内訳は、紙は1,148千ト（同 1.7%減）で、25か月連続で前年実績を下回り、板紙は971千ト（同 2.3%増）で、3か月連続で、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、633千ト（同 2.3%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、163千ト（同10.3%増）と、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,023千箱（前年同月比11.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は714千箱（同 0.6%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も545千箱（同 2.1%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は310千箱（同45.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,924千箱（同 0.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、1,511千㎡（前年同月比 0.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,456千㎡（同 0.7%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、55千㎡（同25.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、37千㎡（同 5.1%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、50億7,811万円（前年同月比12.5%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、606億5,041万円（同 1.1%増）と10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>
小 売 業	<p>4月の県内百貨店の売上高は、雨の日が多かったことや、中旬に発生した熊本地震の心理的影響などにより、対前年比2.5%減となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同17.5%増と引き続き好調で、食料品も物産展効果により同2.7%増と前年を上回った。しかし、主力である衣料品は同5.4%減と、先月と同様に前年を下回り、不振を挽回するには至らなかった。</p> <p>東部地域の食品スーパーでは、平年よりも高い気温の推移のためにビール、カクテル系、飲料の売上が前年を上回ったという声が聞かれた。西部地域の総合スーパーでは、クール寝具の売れ行きが好調であったという声も聞かれた。また、西部地域の専門店では、熊本地震の影響で贅沢をする雰囲気ではないためか、サービス、飲食、食料品などの業種が不調であったという声も聞かれた。</p> <p>4月には県内各商店街でイベントが開催された。東部地域では、市中心部の活性化のために、商店街の路上に敷かれたレッドカーペット上で多彩なパフォーマンスが繰り広げられた。中部地域では、障害者とともに楽しむ商店街探検ツアーが開催され、買い物や店員との交流を楽しんだ。西部地域では、商店街への来訪を促そうと、出店者が手作り品を歩道で販売するバザールが行われ、多くの来場者で商店街がにぎわった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約51万人で、前年同月比15.3%増となった。4月全体としては降水量が増えたものの、休日の天候に比較的恵まれたことが増加の要因として考えられる。特に、浜松市フラワーパークにおいては、桜の見頃時期の天候に恵まれたことから、前年同月比48.4%の伸びとなった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約68万台となっており、前年同月に対して5.2%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉静岡県観光政策課</p>

## ＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

### <二輪車>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	15,097	18,771	19,604	17,245	18,593	20,329	22,973	22,614	20,913
前年同月比(%)	▲8.1	▲7.6	▲22.5	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5	4.8	35.0
KD輸出額(百万円)	708	794	1,018	724	922	740	719	706	646
前年同月比(%)	▲26.0	▲37.3	▲36.8	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8	▲31.5	▲36.7

### <楽器>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	3,254	3,696	4,138	3,654	3,667	3,349	3,607	3,821	5,664
前年同月比(%)	▲2.4	▲4.0	7.6	6.6	5.8	▲1.0	5.5	4.4	▲2.3

### <缶詰>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	859	910	976	968	882	835	849	1,015	1,023
前年同月比(%)	▲1.8	4.2	8.1	12.7	16.8	5.7	▲4.5	8.6	11.0
うち水産缶詰(%)	4.0	10.3	6.8	11.2	16.0	3.8	▲0.9	▲1.4	0.6
農畜産缶詰(%)	▲19.0	▲14.5	12.4	18.1	19.3	11.1	▲13.0	40.9	45.5
飲料缶生産高(千ケース)	7,172	7,133	6,316	6,770	6,466	4,321	5,128	7,176	7,924
前年同月比(%)	▲12.5	15.6	1.0	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4	2.9	0.4

### <繊維>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	1,098	1,348	1,515	1,796	1,749	1,613	1,447	1,462	1,511
前年同月比(%)	0.3	3.7	5.9	13.7	13.9	11.7	▲4.1	▲3.7	▲0.5
小幅織物(千㎡)	33	39	40	41	39	33	37	37	37
前年同月比(%)	▲15.7	▲6.2	5.0	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0	▲1.6	▲5.1

### <観光>

	27年8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月
観光施設(10施設)入込 (千人)	544	477	460	394	261	282	261	500	510
前年同月比(%)	▲3.6	10.2	28.7	▲1.7	19.4	11.8	7.0	6.9	15.3
有料道路(5路線)通行量 (千台)	847	692	692	687	701	647	682	760	684
前年同月比(%)	0.7	2.0	6.6	▲1.4	4.0	3.9	12.5	0.0	5.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告  
平成28年6月号 通巻482号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年6月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>